

源兵衛川 世界水遺産に

GW三島が登録内定公表

三島市の市街地を流れる源兵衛川が18日までに、世界水会議(WWC、本部フランス)が主催する世界水遺産登録に内定した。申請者で地元のNPO法人のグラウンドワーク三島(小松幸子理事長)が同日公表した。

世界水遺産は人間社会と環境との共生に基づいた歴史的な水管理システムや組織、規約を

都市化の影響で水質が悪化した。市民活動などで清流を取り戻し、現在も維持している。

同法人は「市民が愛郷心を結集し、一丸となつて取り組んできた努力が評価された」とコメントした。

申請は地元の中郷用水土地改良区との連名。源兵衛川は2016年11月、国際かんがい排水委員会の世界かんがい施設遺産にも登録された。

顕彰する制度。国際かんがい排水委員会と協力して創設し、今回初めて認定する。登録基準は「100年以上にわたり世代を通じて連用されていること」などを規定している。

源兵衛川は16世紀ごろに稲作の拡大を目的に整備された農業用水路で、長く市民生活と密接な関わりを持つてきた。1960年代に